

# 水素で若返り！死ぬまで元気！ 活性酸素が老化の原因



## サビない身体をつくる水素



### 二日酔いに 苦しまなくなった

二日酔いは、アルコールを分解できずに活性酸素が生じている状態。こんなときは水素で回復。

### 冷えがなくなった

冷えは血行が悪い証拠。水素には血液の流れをよくする効果もあるので冷え改善にも効果的。

### 肩こりの改善

肩こりは筋肉のこりや血行不良がおもな原因です。水素の抗酸化力で血液サラサラにして。

### 水素で 健康になる！

肩こり、冷え、むくみなどの身体の不調は未病の状態ともいえます。水素はこうした不調を改善に導きます。また、疲労回復や二日酔いにも効果を発揮。

### 疲れにくくなった

脳や身体の疲労は活性酸素によって起こります。身体のみずみまでいきわたる水素で疲れのもとを取り除きます。

### ダイエットが しやすくなった

水素は代謝アップにも貢献します。脂肪燃焼を助けるのでスリムな身体に。

### 筋肉痛の軽減

筋肉痛は筋繊維が傷つくことによる炎症で起こります。水素は炎症を抑える作用もあります。

### むくみがとれた

病気が原因でないむくみは代謝の悪さが原因です。水素には代謝を高める作用もあります。

### シワの深みが 浅くなった

シワは肌の老化です。老化の元凶とされる活性酸素を除去することで、シワも浅く！

### すくみが消えた

くすみは血行の悪さが一因。水素の抗酸化力で血流を改善して肌の血色もグリーンとアップ。

### 毛穴が小さくなった

毛穴が開いてしまうのは、毛穴の汚れが酸化して、正常な肌サイクルが乱れてしまうため。水素の抗酸化力で酸化を防止。

### 水素で キレイになる！

美肌づくり、エイジングケア、ダイエットなど、水素がもたらす美容効果を実感している人はどんどん増えています。

### ニキビや吹き出物が なくなった

肌に細菌が入り込み炎症を起こしてできるニキビや吹き出物。炎症を抑える水素が細胞のダメージを軽減してくれます。

### 小鼻まわりの赤みが 消えた！

年齢よりも老けて見える小鼻の赤み。皮脂によって起こる炎症も活性酸素が原因のひとつ。

### シミ、そばかすが 薄くなった

シミやそばかすは紫外線による悪玉活性酸素が原因です。水素が悪玉活性酸素を除去します。

### クマが薄くなった

目の下のクマは血行不良が大きな原因。水素で血行がよくなればクマも改善。

### 水素で 身体のサビをとる

水素のいちばんの特徴が、活性酸素を除去するという働きです。活性酸素にはいくつもの種類があり、なかには身体をサビさせ、老化、生活習慣病やがんを引き起こす元凶となるものも。しかし、実は生きるために必要なエネルギーをつくり出すときにも発生してしまいます。つまり、命ある限り活性酸素は体内で発生し続けるのです。そこで活躍するのが水素。水素は活性酸素を除去する抗酸化力を持っているのが最大の特徴です。つまり、身体のサビをとってくれます。水素は活性酸素とくっつくと、身体に無害な水に変えてしまうのです。活性酸素は、エネルギーをつくり出すときだけでなく、紫外線、ストレス、喫煙、不規則な生活といったことでも発生します。人間の身体にはもともと活性酸素をやっつける酵素が備わ

### 水素は 身体のみずみ までいきわたる

体内の活性酸素を除去してくれる物質として、ビタミンC、ビタミンE、コエンザイムQ10などが知られています。

しかし、抗酸化ビタミンであるビタミンCなどは分子が大きすぎるので、水素のようによい形でもいけるといつわけではありませんが、水素は水溶性のビタミンで水分たっぷりの細胞内で脂溶性のビタミンEは脂質を含む細胞膜の外で働くなど、働く場所が限られてしまいます。

また、ビタミンCなどの抗酸化物質は活性酸素を除去する力が強いので、悪玉活性酸素だけでなく、善玉活性酸素まで除去してしまいます。すると、身体にダメージを与えてしまうことがあるのです。

水素という気体は、宇宙一小さい分子。身体をすり抜けて出たり入ったりできるのです。身体

### 水素は 悪玉活性酸素 だけを退治する

活性酸素には身体にとってよい働きをする善玉と、健康に害をもたらす悪玉があります。水素がすごいのはこの悪玉だけに反応して除去してくれるからなのです。悪玉活性酸素は、善玉の約50倍もの強い酸化力を持ち、老化などを加速させます。一方、善玉活性酸素には、殺菌作用や血管を広げる作用があります。水素は身体に必要な働きを持つ善玉のことは除去しません。

のいたるところに入り込むことができるのが水素の強みです。脳や子宮も入っていき、身体中の悪玉活性酸素から守ってくれるのです。だから、水素はたくさんとっても大丈夫。悪玉活性酸素を除去して仕事が終われば、体内外と抜けてしまい体内に溜まることはなく、とりすぎによる害はありません。

水素は働く場所を選ばない

